

南アルプス市都市計画マスタープラン改定 第2回 策定委員会 開催報告

第2回策定委員会を令和7年5月22日（木）に開催したので開催概要をご報告します。今回の策定委員会では、都市計画マスタープランの核となる『部門別方針』について協議し、沢山の意見や質問が出ました。部門別方針は、主に『土地利用、自然環境、景観』・『都市施設、歴史・文化資産』・『市街地開発』の3つの方針から構成されています。

開催概要

開催日	令和7年5月22日（木） 午後2時00分～午後4時00分
会場	南アルプス市役所 本庁3階大会議室
出席者	【全委員数17名】 出席委員数15名（欠席2名）

- ・土地利用、自然環境、景観
⇒住居系、商業系、工業系、農地、既存集落等、自然環境や景観をふまえた将来的な土地利用の活用方針
- ・都市施設、歴史・文化資産
⇒公共交通整備、公共下水道、道路整備、河川整備等や歴史文化資産の活用方針
- ・市街地開発
⇒主に南アルプスIC周辺についての土地利用の活用方針

当日の次第

- ①建設部長挨拶
- ②会長挨拶
- ③協議事項
 - ・前回からの変更点
 - ・部門別方針
(土地利用、都市施設、市街地開発)

当日の様子



委員からの意見抜粋

- ・土地利用については、虫食いの開発や遊休農地等が発生しないように、将来を見越した方針を示してほしい。
- ・耕作地保全重点地区（将来都市構造図（案））は、リニア中央新幹線開業により開発圧力が高まる可能性があり、土地利用規制を検討すべきである。
- ・耕作地の保全については将来的にも必要だが、中山間地域の耕作放棄地になりやすいところは山に返しても良いのではないか。
- ・現状で優良農地が広がっている地域は、開発に関する表現は慎重に検討してほしい。
- ・農業を活かした観光施設は景観の良いところにニーズがあり、沿道に限定すべきではない。
- ・コミュニティバスが不便という話があるが、公共交通ネットワークは幅広く検討してほしい。
- ・下水道については、全国では陥没事故なども起きており、管理面も含めて検討してほしい。
- ・芦安地域には山岳観光などがあるので、部門別方針に「観光交流」を追加してほしい。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面でも子育てのしやすいまちづくりを目指すべきである。
- ・生活のしやすさの観点から、将来的な各サービスセンターのあり方について検討するべきである。
- ・人口を増やすような目標を立てて努力することも必要である。

内容に関するお問い合わせ先：南アルプス市建設部都市計画課

（住所）〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原376番地

（mail）toshikei@city.minami-alps.lg.jp（電話）055-282-6394